

一般質問

九月定例会では、九月十六日(水)、十七日(木)の二日間、十四人の議員が、市政に関する三十五項目の内容について、通告順に質問を行いました。その一部を紹介します。



…質問 A …答弁

地方分権・総選挙結果

芦屋市民を幸にする地方分権をめざして

創政クラブ 幣原 みや

地方分権一括法により、国と地方は対等とされ、地方分権の名の下に実施された全国一律の税源移譲の際、芦屋市は財源をむしる奪われ、という経験をしました。本来、地方分権は中央主導で行われるべきではなく、地域の特性を生かした施策で住民を幸せにできる改革であるべきです。地方の時代を迎えるにあたり、市長の分権改革に対する見解を問う。

八月の衆議院選挙により初めての政権交代が行われ、入るは「コソクリートから人」を唱える民主党政権に対し、期待半分、不安半分であると考え、現時点において市民に伝えたい事柄は何か。地域主権・地方分権が前進する政策に伴い、職員はどのような意識改革が必要であり、その覚悟を促す方策は何であると考えるか。

八月の衆議院選挙により初めての政権交代が行われ、入るは「コソクリートから人」を唱える民主党政権に対し、期待半分、不安半分であると考え、現時点において市民に伝えたい事柄は何か。地域主権・地方分権が前進する政策に伴い、職員はどのような意識改革が必要であり、その覚悟を促す方策は何であると考えるか。

八月の衆議院選挙により初めての政権交代が行われ、入るは「コソクリートから人」を唱える民主党政権に対し、期待半分、不安半分であると考え、現時点において市民に伝えたい事柄は何か。地域主権・地方分権が前進する政策に伴い、職員はどのような意識改革が必要であり、その覚悟を促す方策は何であると考えるか。

八月の衆議院選挙により初めての政権交代が行われ、入るは「コソクリートから人」を唱える民主党政権に対し、期待半分、不安半分であると考え、現時点において市民に伝えたい事柄は何か。地域主権・地方分権が前進する政策に伴い、職員はどのような意識改革が必要であり、その覚悟を促す方策は何であると考えるか。

八月の衆議院選挙により初めての政権交代が行われ、入るは「コソクリートから人」を唱える民主党政権に対し、期待半分、不安半分であると考え、現時点において市民に伝えたい事柄は何か。地域主権・地方分権が前進する政策に伴い、職員はどのような意識改革が必要であり、その覚悟を促す方策は何であると考えるか。

八月の衆議院選挙により初めての政権交代が行われ、入るは「コソクリートから人」を唱える民主党政権に対し、期待半分、不安半分であると考え、現時点において市民に伝えたい事柄は何か。地域主権・地方分権が前進する政策に伴い、職員はどのような意識改革が必要であり、その覚悟を促す方策は何であると考えるか。

八月の衆議院選挙により初めての政権交代が行われ、入るは「コソクリートから人」を唱える民主党政権に対し、期待半分、不安半分であると考え、現時点において市民に伝えたい事柄は何か。地域主権・地方分権が前進する政策に伴い、職員はどのような意識改革が必要であり、その覚悟を促す方策は何であると考えるか。

八月の衆議院選挙により初めての政権交代が行われ、入るは「コソクリートから人」を唱える民主党政権に対し、期待半分、不安半分であると考え、現時点において市民に伝えたい事柄は何か。地域主権・地方分権が前進する政策に伴い、職員はどのような意識改革が必要であり、その覚悟を促す方策は何であると考えるか。

八月の衆議院選挙により初めての政権交代が行われ、入るは「コソクリートから人」を唱える民主党政権に対し、期待半分、不安半分であると考え、現時点において市民に伝えたい事柄は何か。地域主権・地方分権が前進する政策に伴い、職員はどのような意識改革が必要であり、その覚悟を促す方策は何であると考えるか。

八月の衆議院選挙により初めての政権交代が行われ、入るは「コソクリートから人」を唱える民主党政権に対し、期待半分、不安半分であると考え、現時点において市民に伝えたい事柄は何か。地域主権・地方分権が前進する政策に伴い、職員はどのような意識改革が必要であり、その覚悟を促す方策は何であると考えるか。

八月の衆議院選挙により初めての政権交代が行われ、入るは「コソクリートから人」を唱える民主党政権に対し、期待半分、不安半分であると考え、現時点において市民に伝えたい事柄は何か。地域主権・地方分権が前進する政策に伴い、職員はどのような意識改革が必要であり、その覚悟を促す方策は何であると考えるか。

八月の衆議院選挙により初めての政権交代が行われ、入るは「コソクリートから人」を唱える民主党政権に対し、期待半分、不安半分であると考え、現時点において市民に伝えたい事柄は何か。地域主権・地方分権が前進する政策に伴い、職員はどのような意識改革が必要であり、その覚悟を促す方策は何であると考えるか。

八月の衆議院選挙により初めての政権交代が行われ、入るは「コソクリートから人」を唱える民主党政権に対し、期待半分、不安半分であると考え、現時点において市民に伝えたい事柄は何か。地域主権・地方分権が前進する政策に伴い、職員はどのような意識改革が必要であり、その覚悟を促す方策は何であると考えるか。

八月の衆議院選挙により初めての政権交代が行われ、入るは「コソクリートから人」を唱える民主党政権に対し、期待半分、不安半分であると考え、現時点において市民に伝えたい事柄は何か。地域主権・地方分権が前進する政策に伴い、職員はどのような意識改革が必要であり、その覚悟を促す方策は何であると考えるか。

八月の衆議院選挙により初めての政権交代が行われ、入るは「コソクリートから人」を唱える民主党政権に対し、期待半分、不安半分であると考え、現時点において市民に伝えたい事柄は何か。地域主権・地方分権が前進する政策に伴い、職員はどのような意識改革が必要であり、その覚悟を促す方策は何であると考えるか。

八月の衆議院選挙により初めての政権交代が行われ、入るは「コソクリートから人」を唱える民主党政権に対し、期待半分、不安半分であると考え、現時点において市民に伝えたい事柄は何か。地域主権・地方分権が前進する政策に伴い、職員はどのような意識改革が必要であり、その覚悟を促す方策は何であると考えるか。

八月の衆議院選挙により初めての政権交代が行われ、入るは「コソクリートから人」を唱える民主党政権に対し、期待半分、不安半分であると考え、現時点において市民に伝えたい事柄は何か。地域主権・地方分権が前進する政策に伴い、職員はどのような意識改革が必要であり、その覚悟を促す方策は何であると考えるか。

八月の衆議院選挙により初めての政権交代が行われ、入るは「コソクリートから人」を唱える民主党政権に対し、期待半分、不安半分であると考え、現時点において市民に伝えたい事柄は何か。地域主権・地方分権が前進する政策に伴い、職員はどのような意識改革が必要であり、その覚悟を促す方策は何であると考えるか。

八月の衆議院選挙により初めての政権交代が行われ、入るは「コソクリートから人」を唱える民主党政権に対し、期待半分、不安半分であると考え、現時点において市民に伝えたい事柄は何か。地域主権・地方分権が前進する政策に伴い、職員はどのような意識改革が必要であり、その覚悟を促す方策は何であると考えるか。

八月の衆議院選挙により初めての政権交代が行われ、入るは「コソクリートから人」を唱える民主党政権に対し、期待半分、不安半分であると考え、現時点において市民に伝えたい事柄は何か。地域主権・地方分権が前進する政策に伴い、職員はどのような意識改革が必要であり、その覚悟を促す方策は何であると考えるか。

八月の衆議院選挙により初めての政権交代が行われ、入るは「コソクリートから人」を唱える民主党政権に対し、期待半分、不安半分であると考え、現時点において市民に伝えたい事柄は何か。地域主権・地方分権が前進する政策に伴い、職員はどのような意識改革が必要であり、その覚悟を促す方策は何であると考えるか。

郷土愛・スポーツ振興・違法薬物対策

芦屋という郷土を慈しむために

イブニング 中島 健一

来年は市制七十周年を迎えるが、現在の取り組み状況はどうなっているのか。

十一月十日という市制施行日は、芦屋の歴史を振り返り、発展させていく機会でもある。学校においては、時間を取り、郷土を学ぶようにすべきではないか。また、市民にも市民憲章をはじめとした啓発を行い、市政に対して広く関心と意見を集めていくべきだと考えるかどうか。

市制七十周年に向けては、財政状況等から盛大な祝事はできないが、祝念すべき筋目の年を市民と祝い、盛り上げるために、実行委員会を立ち上げ検討したい。小学校では、三、四年生の社会科で、身近な地域や市

過去何回も同趣旨の質問をしているが、決して無理難題を強要しているのではない。教育委員会は、市民の実態・要望等を調査し、多くの市民、特に障がい者等にスポーツに参加しやすい環境を整備すると振興基本計画で市民に約束しているが、中学校のスポーツ施設の夜間開放、ナイター施設の整備等が、いまだ実現していない。約束は守られなければならないと思うか。

六月にスポーツ施設のバリアフリー化を推進するため、障がい者スポーツ指導者協議会を発足した。スポーツ振興基本計画については、進捗状況を本年中に報告し、実施予定の項目は実施に努める。中学校体育施設の夜間開放については、部活動等があり困難、今後教育委員会でも検討する。夜間照明

条約では、子ども一人ひとりが人間としての尊厳を大切にされ、ありのままの姿が認められること、子どもを権利の主体者として尊重することが求められている。この条約が芦屋の子どもたちの生活に生かされるよう、芦屋版「子どもの権利条約」制定を目指して取り組んでほしい。子ども視点でのまちづくりが重要と考える。子ども関連施策での対策は、思春期の居場所づくりも望む。

基金は市民の血税の固まりである。市は基金十二億円を金銭信託で運用。この信託は外国為替相場に応じ利息が決定され一定額以下の円高になれば、ほぼ無利息。また、この状態が続くことは市に信託の解約権がなく、最長三十年間は当該基金は活用できない。基金は地方自治法でも「確実かつ効率的に運用する」と定めている。この金銭信託の「確実性」がどの様に担保されているのか、指定金銭信託しているのは、財政基金が十億円、減価基金が一億円受託者が信託と同額の国債を取得することで、元本の確保を行っている。公金については、安全で確実かつ有利な運用方法を図る必要があることから、公金管理運用方針を定め、公金管理運用検討委員会を設置している。今回の運用も、委員会でも協議を行い、決定したものであり、条例上も問題ないと考えている。

同視弱視とは、あまり知られていないが、片目だけが強い遠視、もしくは近視の状態である。斜視もないので外見上からは分かりづらい。また片方の目は良く見えるので、適正な検査を行わないと発見しにくい。六歳児健診時の案内に斜視、三歳児健診時の案内に斜視、不同視弱視についての注

能人が違法薬物の使用で検査されている。かつて大麻などの薬物は簡単に入手できる社会である。薬物使用の恐ろしさをもっと啓発するべきと考える。地域の民生委員、福祉推進委員への研修実施や市の出前講座のメニューにも入れてはどうか。また、小中学生への学校での取り組みはどうなっているのか。

昨日、大学生や若者が違法薬物の使用で検査されている。かつて大麻などの薬物は簡単に入手できる社会である。薬物使用の恐ろしさをもっと啓発するべきと考える。地域の民生委員、福祉推進委員への研修実施や市の出前講座のメニューにも入れてはどうか。また、小中学生への学校での取り組みはどうなっているのか。

関係団体に打診したが、近隣住民の理解が得られず設置は困難な状況である。違法薬物の根絶に向けた地域の取り組みについて

重村啓二郎 伊ブニング 田原 俊彦

能人が違法薬物の使用で検査されている。かつて大麻などの薬物は簡単に入手できる社会である。薬物使用の恐ろしさをもっと啓発するべきと考える。地域の民生委員、福祉推進委員への研修実施や市の出前講座のメニューにも入れてはどうか。また、小中学生への学校での取り組みはどうなっているのか。

昨日、大学生や若者が違法薬物の使用で検査されている。かつて大麻などの薬物は簡単に入手できる社会である。薬物使用の恐ろしさをもっと啓発するべきと考える。地域の民生委員、福祉推進委員への研修実施や市の出前講座のメニューにも入れてはどうか。また、小中学生への学校での取り組みはどうなっているのか。

昨日、大学生や若者が違法薬物の使用で検査されている。かつて大麻などの薬物は簡単に入手できる社会である。薬物使用の恐ろしさをもっと啓発するべきと考える。地域の民生委員、福祉推進委員への研修実施や市の出前講座のメニューにも入れてはどうか。また、小中学生への学校での取り組みはどうなっているのか。

昨日、大学生や若者が違法薬物の使用で検査されている。かつて大麻などの薬物は簡単に入手できる社会である。薬物使用の恐ろしさをもっと啓発するべきと考える。地域の民生委員、福祉推進委員への研修実施や市の出前講座のメニューにも入れてはどうか。また、小中学生への学校での取り組みはどうなっているのか。

昨日、大学生や若者が違法薬物の使用で検査されている。かつて大麻などの薬物は簡単に入手できる社会である。薬物使用の恐ろしさをもっと啓発するべきと考える。地域の民生委員、福祉推進委員への研修実施や市の出前講座のメニューにも入れてはどうか。また、小中学生への学校での取り組みはどうなっているのか。

昨日、大学生や若者が違法薬物の使用で検査されている。かつて大麻などの薬物は簡単に入手できる社会である。薬物使用の恐ろしさをもっと啓発するべきと考える。地域の民生委員、福祉推進委員への研修実施や市の出前講座のメニューにも入れてはどうか。また、小中学生への学校での取り組みはどうなっているのか。

昨日、大学生や若者が違法薬物の使用で検査されている。かつて大麻などの薬物は簡単に入手できる社会である。薬物使用の恐ろしさをもっと啓発するべきと考える。地域の民生委員、福祉推進委員への研修実施や市の出前講座のメニューにも入れてはどうか。また、小中学生への学校での取り組みはどうなっているのか。

昨日、大学生や若者が違法薬物の使用で検査されている。かつて大麻などの薬物は簡単に入手できる社会である。薬物使用の恐ろしさをもっと啓発するべきと考える。地域の民生委員、福祉推進委員への研修実施や市の出前講座のメニューにも入れてはどうか。また、小中学生への学校での取り組みはどうなっているのか。



昭島市で

都市環境常任委員会が福生病院と昭島市を視察

都市環境常任委員会(徳田直彦委員長)は、10月5日(月)～6日(火)に、公立福生ふっさき病院と東京都昭島市への行政視察を実施しました。公立福生病院では、病院建て替えについての経緯、新病棟見学を中心に視察しました。はじめに病院の管理者でもある福生市の加藤市長から、病院の沿革、概要の説明を受けた後、事務長より病院建て替えの説明、質疑応答、病棟見学をさせていただきました。医師不足が問題になっている昨今、東京都では医師は充足していると考えていましたが、都心部以外では必ずしもそうではないとの説明がありました。昭島市では、ごみ減量化への取り組みについて視察しました。主なものとして、ごみの指定袋による有料化、戸別収集、生ごみ処理機の購入補助、コンポストの購入補助を行っているとのこと。戸別収集では、モデル地区を設けて試行後、現在では市内全域で実施しており、ごみを門扉の内側に置くことで市内の景観も良くなったとの市民の声が寄せられているとのことでした。

本会議をインターネット中継

芦屋市議会では「市民に開かれた議会」をより一層推進するため、本会議をインターネットで配信しています。インターネット配信による議会中継は、議場で行われている議会議の模様をインターネット上でリアルタイムに配信する「ライブ中継」と収録した映像を検索し閲覧できる「録画中継」があります。「録画中継」は概ね1週間後からご覧いただくことができます。ホームページアドレス <http://www.city.ashiya.hyo.go.jp/gikai/>

議員研修会を開催しました

7月24日(金)に、兵庫県尼崎港管理事務所にご協力いただき、議員研修会を開催しました。尼崎港管理事務所の調査監督船「さちかぜ号」に搭乗し、潮戸屋周辺の状況を海上から視察するとともに、船内では、尼崎西宮芦屋港の現況について、尼崎港管理事務所の高橋所長から説明を受けました。併せて「大阪湾フェニックス計画」及び「兵庫東エース事業」についても説明を受け、活発な意見交換が行われました。



「さちかぜ号」船内

